学校番号	１２０６

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）自己表現（数学編Ａ）	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	練習ドリル　数学Ⅰ　基礎から標準編（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

1 年次「基礎からの数学」の復習をプリント形式で行い、並行履修中の「数学Ⅰ」の学習内容を演習形式で行います。
また、必要に応じて、問題の解答方法の説明を討論する機会も設ける予定です。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数学における概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学化したり、数学的な解釈、表現・処理する技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】
数学を活用して事象を論理的に考察する力や数学的な表現により事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断する態度等を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学における基本的な概念、原理・法則などの知識を体系的に理解できる。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な思考力や判断力が身に付いている。	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数と式（数学Ⅰ）	数と式の計算 ・計算の基本 ・単項式と多項式 ・多項式の加法、減法 ・多項式の乗法 ・展開の公式 ・因数分解 ・展開、因数分解の工夫 ・根号を含む式の計算 ・実数 1 次不等式 ・1 次方程式 ・不等式 ・不等式の解	a:数を実数まで拡張する意義を理解する。簡単な文字式や無理数の計算ができる。 b:すでに学習した計算の方法と関連付け、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形できる。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	プリント 小テスト	問題集 確認 テスト	課題 プリント 観察
	集合と命題（数学Ⅰ）	集合と命題 ・集合 ・命題と集合 ・必要条件と十分条件	a:集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 b:集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明する。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	プリント 小テスト	問題集 確認 テスト	課題 プリント 観察
	2次関数（数学Ⅰ）	2 次関数のグラフ ・関数 ・1 次関数のグラフ ・2 次関数のグラフ 2 次関数の値の変化 ・2 次関数の最大値,最小値 ・グラフと 2 次方程式	a:2 次関数のグラフの特徴について理解できる。 b:2 次関数の式とグラフの関係について、グラフをかくなど多面的に考察できる。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	プリント 小テスト	問題集 確認 テスト	課題 プリント 観察
後期	図形と計量（数学Ⅰ）	三角比 ・直角三角形 ・三角比 ・三角比の利用 ・三角比の相互関係 ・鈍角の三角比	a:三角比の意味と相互関係について理解できる。 b:図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現できる。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	プリント 小テスト	問題集 確認 テスト	課題 プリント 観察

	図形と計量（数学Ⅰ）	三角形への応用 ・正弦定理 ・余弦定理 ・三角形の面積	a:正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて辺の長さや角の大きさを求めることができる。 b: 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象などを数学的に捉えることができる。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	プリント 小テスト	問題集 確認 テスト	課題 プリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度